

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市鶴巻児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3 指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
4 施設の利用状況	《利用者数》 17,418 人 (前年度比 82.3 %) 令和元年度 21,174人 平成30年度 23,484人 平成29年度 19,909人
	《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 42,287 千円 (39,978千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
	()は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>児童の社会参画、自己実現を図る事業にも多く取組み、積極的主体的に参加する環境作りを進めることができました。また、地域の協力を得ながら児童が地域と繋がる行事を多く企画しました。しかし、新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止または企画の変更をせざるを得なくなり、残念に思います。</p> <p>●児童健全育成 結成11年目となる子ども劇団「わんにゃんぼう」は、在仙の詩人武田こうじ氏による脚本演出の朗読劇を、今年はコロナの影響で文学館での公演は出来ず、武田こうじさんのラジオ3の番組に出演させていただき、発表することが出来ました。また、中学生までの子どもボランティアを募集し、館の主催行事「こどものまち」の企画運営、児童館行事の補助など行い、地域のリーダー育成を目的に活動しました。</p> <p>●子育て家庭支援 「おはなし会」や、お茶を飲みながらお母さん方の不安や悩みを共有する「ほっとカフェ」などサロンのような内容のものと、製作やクッキング、講話など企画しました。また、高砂地区社会福祉協議会助成事業の「子育てサロン」、宮城野区まちづくり推進課主催の「はっぴいママ」などの企画にも積極的に活動しようとしたのですが、新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止または企画の変更をせざるを得なくなりました。</p> <p>●地域交流推進 今年の「つるまきハロウィン」は、今年までのような各店舗等を回ることにはこのコロナ禍で自粛しました。そのため、今年はウェブによる仮装大会のみの実施という形に変えました。</p> <p>●児童クラブ 今年度も登録数は増加しましたが、コロナの影響で利用を控えたご家庭もあり後半には通常の利用者数に戻りました。登館時の検温、館内の消毒やマスクの着用の声掛け、密接を避ける座席の配置などコロナ感染防止に努め、児童及び保護者の皆様のご協力をいただきながら、感染者を一人も出さずに運営することができました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度は、コロナ感染症の影響で緊急事態宣言が4月に発令され、小学校が5月まで休校となったが、休校中も児童クラブの受け入れを行った。この間、乳幼児親子の自由来館及び小学生の自由来館を休止していたが、その後、乳幼児親子の自由来館は6月から平日午前のみ再開し、小学生の自由来館は10月から土曜日のみ再開した。感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力を要した児童館運営となった。</p> <p>その中で、児童健全育成事業としての地域交流でもある「つるまきハロウィン」や子ども劇団「わんにゃんぼう」、子どもボランティアの活躍の場ともなっている「こどものまち」等、恒例ともなっている各事業が途切れることなく継続されている。開催に向けて様々な制限のある中、職員間で話し合い、各関係機関の協力を得ながら工夫を凝らした。「つるまきハロウィン」では例年とは違ってWEBでの仮装大会を行い、毎年、パレードで協力頂いている地域の方々に審査員をお願いし交流を持った。「わんにゃんぼう」では劇場での公演が難しい状況で、講師のラジオ番組での朗読劇の発表を行った。「こどものまち」は例年と変わりなく子ども達の自発的な活動をサポートし、人数や設置場所の工夫するなどして安全に配慮し行った。他にも、鶴巻小学校体育館でおこなった「あそびうた」では、子ども達に楽しい音楽の時間を提供し、「踊り子隊」として児童クラブ有志の子ども達にステージ発表の場を設けた。児童館が中心となり、地域や各関係機関と連携を密にし、子ども達に様々な経験の場を提供しており評価できる。また、こうした対外的な豊かな行事だけでなく、児童クラブの活動として子ども達の毎月の楽しみとなっている「お誕生会」を開催し、家庭的で温かな行事も大切に継続している。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、幼児クラブ「とんとん」で季節の遊びや製作活動など遊びの場を提供し、「子育てママ向けヨガ」で母親向けのリフレッシュの場を設けるなど、様々な趣向を凝らした事業を展開し地域の子育て家庭を支援している。地域交流推進事業として人気の「みんなであそぼう・ミニ四駆」は、人数を制限して開催し、参加者にも好評であった。様々な安全対策を工夫しつつ各事業の継続に努めて、児童館運営に取り組んでおり評価できる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課